　全国地理教育学会第14回大会

　大会要項（第2報）

**大会テーマ**

**現代の人口問題と地理教育・社会科教育における課題と扱い**

**大会は、シンポジウム及び総会をオンラインで開催いたします**

１．期　　日　　　　　２０２０年１１月２２日（日）

２．主　　催 全国地理教育学会

　　　　　　　　　　　全国地理教育学会事務局：〒114-8574　東京都北区中里３－１２－２

　　　　　　　　　　女子聖学院中学高等学校　柏倉康成

　　　　　　　　　　URL:http://www.jageoedu.jp

　　　　　　　　　　E-mail: y\_kashiwakura@joshiseigakuin.ed.jp

　　　　　　　　　　　大会委員会：牛込裕樹（委員長），小林正人，松岡路秀

　　　　　　　　　　　　　　　　　針谷重輝，藤田　晋，宮本静子，山内洋美

　　　　　　　　　　　　　　　　　日下部和宏

　　 E-mail:taikai@jageoedu.jp

３．参加費 無料

４．期日、時程　　　　１１月２２日（日）１４：００～１７：００　　シンポジウム

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　１７：１０～１７：５０　　総　　　会

５．シンポジウム　　　オンライン（Zoomによる）で行います。

Zoomミーティングに参加するIＤ、バスワードは後日お知らせします。

テーマ：現代の人口問題と地理教育・社会科教育における課題と扱い

　現代の日本・世界は、人口減少、少子高齢化、人口一極集中、人口増加などの新しい人口問題に直面している。これら新しい人口問題に地理教育・社会科教育はどのようにアプローチしていくべきだろうか。その１つとして、地域スケールごとに考察していくことが考えられよう。地域社会の人口問題、日本の人口問題、世界の人口問題などである。また、国内各地における外国人居住という問題も広くは人口問題であり、これは、移民の問題、多文化共生という大きな問題とも絡んでくる。

　以上から、本シンポジウムでは、地域社会、日本、世界というスケールを踏まえ、それぞれの人口問題について、地理教育・社会科教育における課題と扱いという観点から検討する。４つの発表のうち、①と④は地域社会の人口問題、主として小学校段階、②は日本の人口問題、主として中学校段階、③は世界の人口問題、主として高校段階を想定している。

発　表（発表時間、各20分）

①岡田良平（大阪府泉南郡岬町立深日小学校）

　小学校における地域資源を活用した地理的学習の意義と課題−「ひと・まち・つながる教育」を事例として−

②菊地達夫（北翔大学短期大学部）

　人口減少社会の地理教材化の視点について

③永田成文（三重大学）

　世界の人口問題の解決の方向性を考察・構想する高等学校における地理E S D授業−人口転換による人口ボーナス期と人口オーナス期に着目して−

④木村秀雄（群馬県大泉町立西小学校・非会員）

　外国人集住地域の実態と社会科教育における課題と扱い−群馬県大泉町の事例を中心に−

総合討論　約60分

オンライン　ホスト

佐藤浩樹（神戸女子大学）

オーガナイザー

　　　　　　　　　　佐藤浩樹（神戸女子大学）

　　　　　　　　　　牛込裕樹（大妻中野中学校高等学校）

６　総　　会　　　　オンライン（Zoomによる）で行います。

７　一般研究発表について・・・一般研究発表のオンラインでの発表はありません。

　一般研究発表を希望されていた方については、『地理教育研究』第28号（2021年3月発行予定）に、1〜3頁（例年の場合は１頁）の発表要旨を掲載することによって、発表をしたことに代えさせていただきます。

　執筆要領は、例年の発表要旨の場合と同じです。査読は原則としてありません。

　原稿期限は2020年10月末日です。

　原稿送付先は、全国地理教育学会大会委員会です。第14回大会発表要旨と明記してお送りください。原稿はメールにてお願いします。

原稿送付先メールアドレス　　全国地理教育学会大会委員会　　E-mail:taikai@jageoedu.jp

８．　問合せ先

大会専用メールアドレス　　taikai@jageoedu.jp

　　 学会大会委員長　牛込裕樹　　　090-1846-3359